

ESLを通して

総合管理学部総合管理学科 3年 宇都宮研輔

まず、私がこの ESLに参加しようと思ったのは、英語力を付けるためというよりは、異文化を学ぶためでした。

正直、私は英語力もそれほどないし、どちらかといえば大人しい方なのでアメリカでやっていけるか不安でいっぱいでした。しかし、実際行ってみると、学校の先生方やホストファミリーのみなさん、道行く人々がとてもフレンドリーで不安など抱く心配は全くありませんでした。むしろ、みんなにつられて自分からも話しかけるようになり、英語力が乏しいのでいろいろ試行錯誤しながらコミュニケーションを取ろうと必死になっていました。そして最後には日本に帰りたくなく、日本に帰ってから逆にホームシックになってしまいました。



まず、アメリカに着いてからの第一印象は、とにかく“デカイ！！”の一言です。車や道路、家、人、食べ物、建物などなど、日本とは比べ物にならないくらい大きく、日本との違いをまじまじと見せつけられました。モンタナでは、午前中にビリングス大学で英会話の授業をして、午後にはアメリカの文化を学ぶ時間が設けられており、**Rock climbing** や **Rodeo**、**Yellow stone** などに行き、様々なアメリカの文化を実際に体験しながら学ぶことができました。ESLの先生方もとても親切で、気兼ねなく分からないことは質問できたので積極的に英語を話すことができ、とても楽しく勉強することができました。

ホストファミリーのみんなもとても親切で、ホームシックになったことは一度もなく、

本当の家族のように接してくれました。また、私がホームステイした家族には子どもがいて、日本人の私にも積極的に話しかけてくれたり、子どもながらに私を世話してくれたりして、本当の兄弟のように仲良くしてくれました。ホストファミリーとはプログラムで行かなかったところにも一緒に行ったり、学校では学ぶことがないような文化も教えてくれて、毎日が新発見の連続でした。そのおかげで毎日暇することはなく、3週間という期間はあっという間に過ぎてしまいました。ホストファミリーには感謝しても感謝し足りません！！日本に帰るときは、みんな大泣きしてホストファミリーのみんなも泣いてくれました。またいつか自分の力でいきたいと思います。



この ESL を通して、アメリカの文化を学ぶことはもちろん、言葉だけではなくボディランゲージや表情などでもコミュニケーションはとれるし、聞き手も相手の言いたいことを聞き取ろうと親身になれば理解することもできるということを学び、私の人生の中でかけがえのない一時を過ごすことができました。これから海外に留学したいけどなかなか踏み切れないような人は絶対に留学することをお勧めします！長い人生の中でたったの 3 週間、または 1 年間なんてあっという間だし、そのあっという間の期間だけでこれだけのことを得ることができるので迷っている方は是非留学するべきだと思います。

まだまだ学んだことは言葉では伝えられないほど多くあります。そして、この ESL で学んだことをこれからの生活に活かしていきたいと思います。